

<週報No. 2,967> 3,079 回例会

2022年3月4日（金）リモート開催

■会長／北川 和彦 ■幹事／飯田 兼光

◆司会＝玉本 広人 SAA

◆ゲストビジター＝ジャーナリスト・映画監督 三上智恵様
沖縄県恩納村 瀬戸隆博様

◆会長告知・北川和彦会長＝本日は創立 65 周年記念行事の特別例会として、三上智恵さんと瀬戸隆博さんをお招きして、講演と座談会をしていただきます。私は、昨年 7 月の会長就任の当初、「創立 65 年を迎え、当初の熱気と奉仕の意欲を思い起こそう」を、今年度のテーマの一つにしました。会員の平均年齢が 50 歳代となり、若い会員が増え、ここで創立当時の熱気に触れて今後の活動のあり方を考えようと思っていました。

昭和 20 年 8 月の敗戦で日本はすべてを失いましたが、同 26 年サンフランシスコ講和条約締結で主権が回復され、同 31 年に国際連合への加入承認で世界に受け入れられました。日本が対外的に再出発しようとした時期です。

まさにその時期の昭和 31 年、県内初の松本ロータリーが創立され、その 1 年後に当クラブが創立されました。当クラブは、設立 3 年後には岡谷ロータリーと伊那ロータリーのスポンサーになってそれぞれの設立に関与し、昭和 38 年には県内 2 番目のゴルフ場である諏訪湖カントリークラブをメンバーが中心になって作りしました。諏訪を再興しようという熱気があったと思います。その当時を思い起こそうということです。

ところが古屋実行委員長は、より深く問題をとらえられました。戦争を体験されたロータリアンからその経験を聴き、日本の再出発のためにどんな思いでロータリーの活動をしてきたかを学ぼうということに問題意識を深められました。その一つの企画として、本日の特別例会があります。この 2 月は平和構築と紛争解決月間でした。今まさにロシアのウクライナ侵攻で悲惨な状況がリアル見られます。中国の台湾侵攻が 6 年以内と言われ、新しい冷戦の始まりという人もいます。

ロータリアンとしては、戦争を現実のものとして受け止めて平和の構築を自分のものとして考える必要があります。本日の例会を通じてその機会としたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

◆幹事報告・飯田兼光幹事＝本日は 65 周年特別例会です。実行委員会のみなさん、よろしくお願いいたします。終了点鐘は 2 時 45 分を予定しております。理事会報告させていただきます。4 月 21 日に開催が予定されております諏訪湖 RC との合同例会ですが、開催可否の判断基準が示されました。感染レベルが 2 まで下がれば実施する（会場はマリオで飲食あり）、感染レベル 3 以上は中止とするという案について審議され承認されました。4 月 8 日の例会について当初、下社山出し日程と重なっていたため、開催中止と致しましたが、山出しが無くなったため、計画通り例会を開催する旨審議頂き、承認されました。理事会報告は以上です。今月のロータリーレートは 116 円です。次週、3 月 11 日に予定されておりましたローターアクトとの

夜間合同例会は、新型コロナウイルス感染症の影響から中止と致しました。3 月 18 日は準法定休日で例会はお休みです。3 月 25 日の例会はクラブフォーラムでプログラム委員会担当となります。ご準備お願い致します。幹事報告は以上です。

◆特別例会

●創立 65 周年実行委員会・古屋了委員長＝本日、岩波寿亮会員はじめ皆様のご理解と実行委員諸氏のご協力によりまして、三上智恵様、瀬戸隆博様をお招きしての特別例会が実現いたします。本当に心より感謝申し上げる次第です。岩波壽様の生きざまに学び、私達が現在直面する困難を乗り越える中で、さらなる奉仕への情熱の原点をつかむというきっかけが得られますことを期待いたしまして、実行委員会を代表しての挨拶をさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

●講演 三上智恵様＝「沖縄戦と岩波壽隊長～課せられた任務と戦後の沖縄訪問～」動画をまじえてご講演



●座談会 三上智恵様 瀬戸隆博様 北川和彦会長 岩波寿亮会員＝「草創期のロータリアン 岩波壽さんの思いを辿る」

岩波壽さんの人物像、戦争との向き合い方、ロータリアンとしての足跡について発言。草創期をともにした三井義章会員も発言。（座長）山田文雄会員、（進行）花岡秀則会員 詳細は創立 65 周年記念誌に収録。



◆今後の例会日程

3月11日	金	アト合同例会 中止
3月18日	金	準法定休日
3月25日	金	クラブフォーラム（会員卓話）